



MIO OHASHI

PORTFOLIO

INTRODUCTION

大橋 滯

1993年生まれ

早稲田大学国際教養学部卒

ヨーロッパへの留学、世界30カ国への旅を経て、
経営コンサルティング会社とベンチャー企業に勤務。
コロナ禍での妊娠を機に、人生観が一気に変わり、
育児の傍らアートを制作し続ける決意をする。

幼少期から学生時代、社会人時代まで、自身が苦しかった
ときに、ずっと絵を描いてきたことに気づく。
その描く対象は、日々の喧騒から解放された、実在しない
「理想の美しい世界」だった。

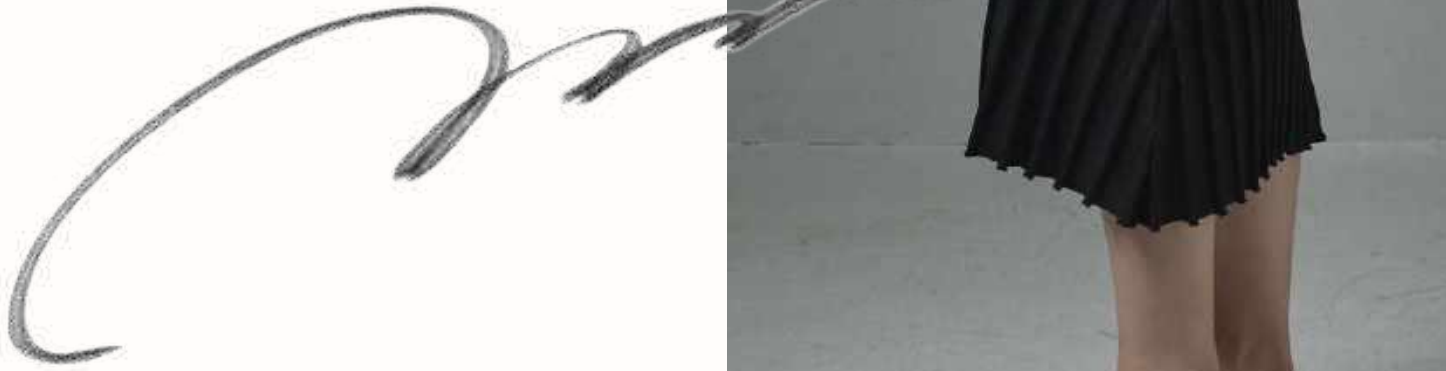
つらい時にアートが寄り添ってくれた自身の経験から、
アートの役割は、目にする方に「静かに寄り添い、癒しや
刺激を与えること」だと信じる。

「理想の空間を叶えるアート」をコンセプトに掲げ、
飾ることで個々の理想とする空間を完成させる1ピースに
なることを目指し活動を続ける。

2020年活動開始。2022年11月時点で400点以上の作品をイ
ンテリアショールーム、オフィス、ホテル、個人邸宅等に
納品。

描くモチーフは、自身が人生で出会った美しいと感じる
「理想の世界」。世界を旅する中で出会った自然や街の情
景、香り、肌で感じた陽の光の温かさや風の柔らかさなど
の記憶をたどり表現する。
凛とした中にも温かみを感じる作風が特徴。

アート業界の敷居を低くし、「アートx〇〇」で新しい挑
戦をすることが夢。





個展

2021

- ・ 11月 THE TOYOSU TOWER エントランスホール

グループ展

2021

- ・ 7月 Farmacy's Gallery Ginza (銀座)
- ・ 10月 between the arts gallery (西麻布)
- ・ 11月 WHAT CAFE (品川)
- ・ 12月 Shibuya SACS (渋谷)
- ・ 12月 100人10 シンワアートミュージアム (銀座)
- ・ 12月 artworks NAGOYA (名古屋)

2022

- ・ 4月 シンガポール国立美術館
- ・ 11月 100人10 東京ミッドタウン (六本木)

アートフェア

- ・ Independent Tokyo 2021 (竹芝)

作品収蔵

- ・ CUCINA東京ショールーム (代官山)
- ・ CityCamp恵比寿 (恵比寿)
- ・ 神戸三宮阪急ビル (神戸・三宮)
- ・ 積水ハウス ファインシティ新越谷 (埼玉・越谷)
- ・ 住友不動産 モデルルーム (東京)
- ・ 阪急阪神不動産「ジオ」 (大阪)

商品デザイン

- ・ パーソナルミーティングスペース “OneBo”
((株)プラザクリエイト)

作品提供

- ・ 雑誌 FUDGE 2021年8月号
- ・ 日テレ ドラマ「ムチャブリ！私が社長になるなんて」
- ・ Netflix ドラマ「First Love 初恋」
- ・

インタビュー

- ・ WASABI 「私がアーティストとして表現し続けるもの」
2020年 <<https://wasabi-nomal.com/?mode=f158>>
- ・ Casie 「都会的で洗練された「空間」を完成させるアート」 2021年 <<https://casie.jp/artistinterview/miotokyo>>
- ・ ENOAL 「洗練された理想の空間を叶えるアート」 2021年 <<https://enoal.co/pages/artist-stories-miotokyo>>
- ・ Casie 【調査】画家の90.1%、「兼業」で創作続ける。「産後5ヶ月。絵を描くことは、自分らしくいられる時間」
2021年 <<https://casie.jp/media/research-2020118/>>



Instagram

@miotokyo_art

https://www.instagram.com/miotokyo_art/



BORDERLESS - DUNE
Acrylic, mixed media on canvas
652×455×20mm
2021



BORDERLESS - DAWN
Acrylic, mixed media
on canvas
727×606×20mm
2021



BORDERLESS - SAPPHIRE
Acrylic, mixed media on canvas
652×455×20mm
2021



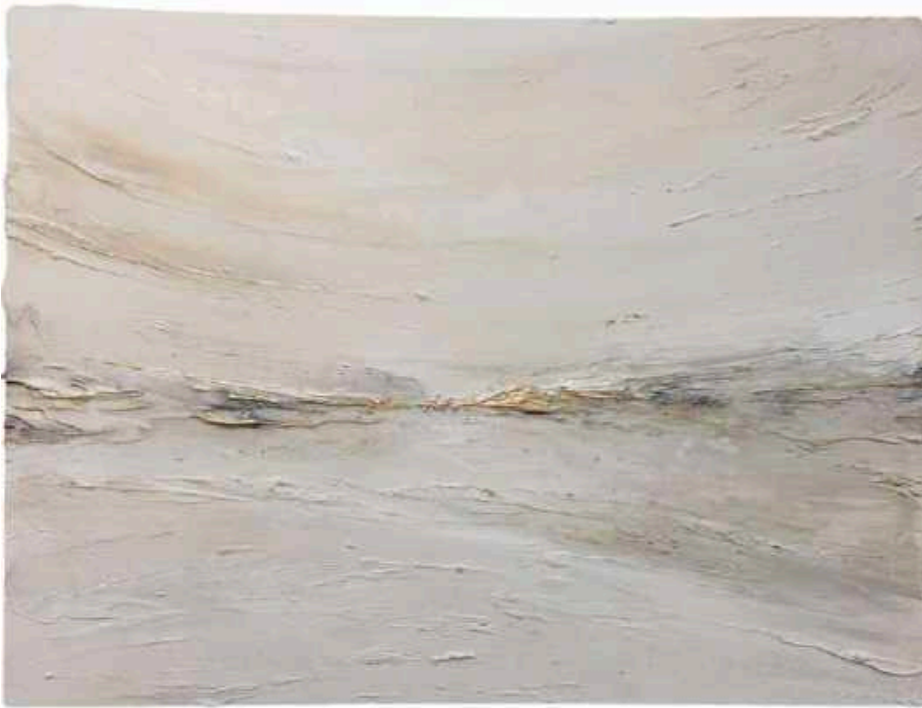
BORDERLESS - OCEAN No.05
Acrylic, mixed media on canvas
652×455×20mm
2021



BORDERLESS - SKY
Acrylic, mixed media
on canvas
803×606×25mm
2022



BORDERLESS - DUNE
Acrylic, mixed media on canvas
727×530×20mm
2022



BORDERLESS - DUNE
Acrylic, mixed media on canvas
803×606×25mm
2021



BORDERLESS - DUNE No.30
Acrylic, mixed media
on canvas
652×500×20mm
2022



BORDERLESS - FOREST
Acrylic, mixed media on canvas
727×530×20mm
2021



BORDERLESS - SAND
2021



BORDERLESS - SKY
2021



BORDERLESS
2021



BORDERLESS - SKY
2021



FLOW - SERENE FOREST
2021



FLOW - GREIGE
2021



FLOW - SANDCASTLE
2021



FLOW - MARINE BLUE
2021



FLOW - SERENE FOREST
2021



FLOW - OCEAN
2022



FLOW - SKY BKUE
2021



FLOW - IVORY
2021

TEXTURE SNOW No.05
Mixed media on canvas
375×280×23mm
2021



TEXTURE SNOW No.08
Mixed media on canvas
375×280×23mm
2021



FLOW - MARBLE
Mixed media on canvas
652×500×23mm
2020

TEXTURE - SNOW No.03
Mixed media on canvas
375×280×23mm
2020





DEEP WATER
2021



BORDERLESS SKY
2021



BORDERLESS -
SAPPHIRE
2021



BREEZE
2021



FLOW - SERENE
FOREST
2021



FLOWER FIELDS
2021

Acrylic on paper, metallic frame
509×394×20mm

FLOW - OCEAN
2019



DEEP WATER
2021



FLOW - FOREST
2021

EDGE - SEPIA
2019



INFINITY
2020

FLOW - DREAM
2020



GLOW - RAIN
2019



FLOW - EMERALD
2021



FLOW - OLIVE
2020

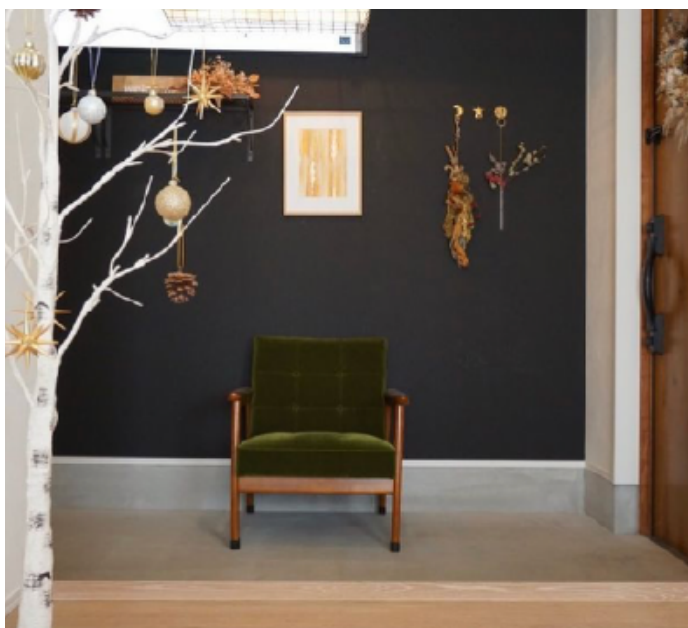
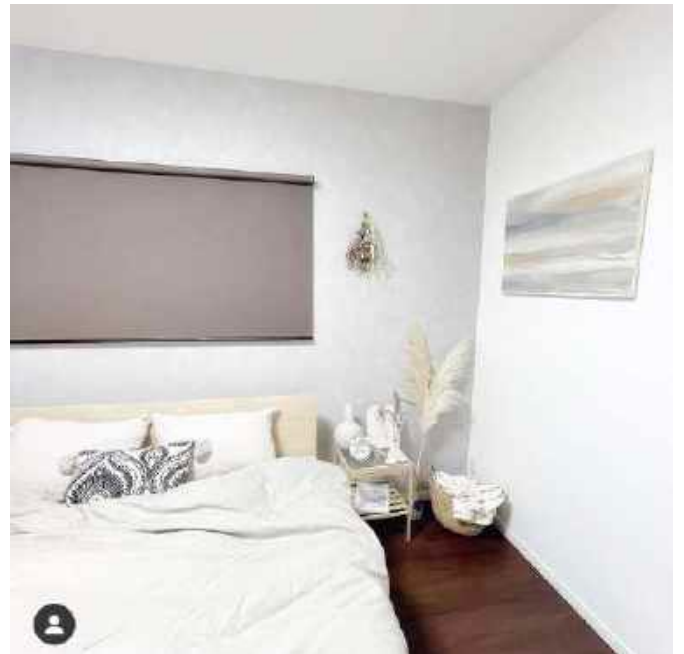


GEOMETRIA No.02
2020

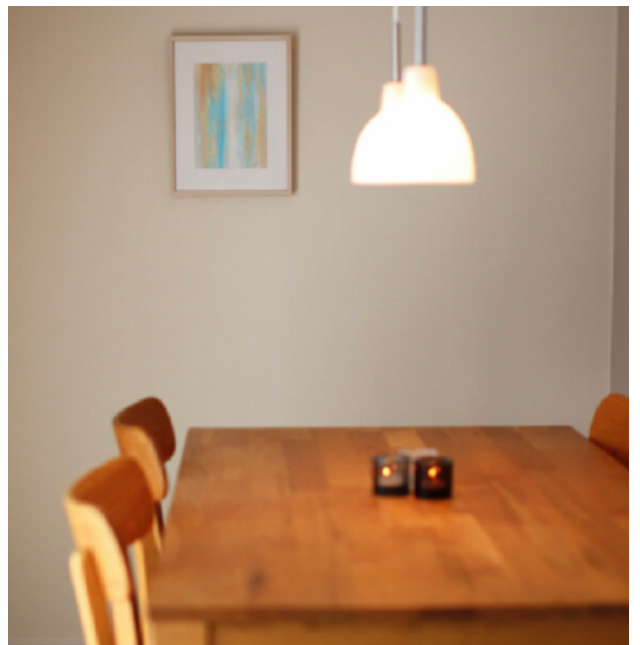
Acrylic on paper,
metallic frame
313×400×23mm

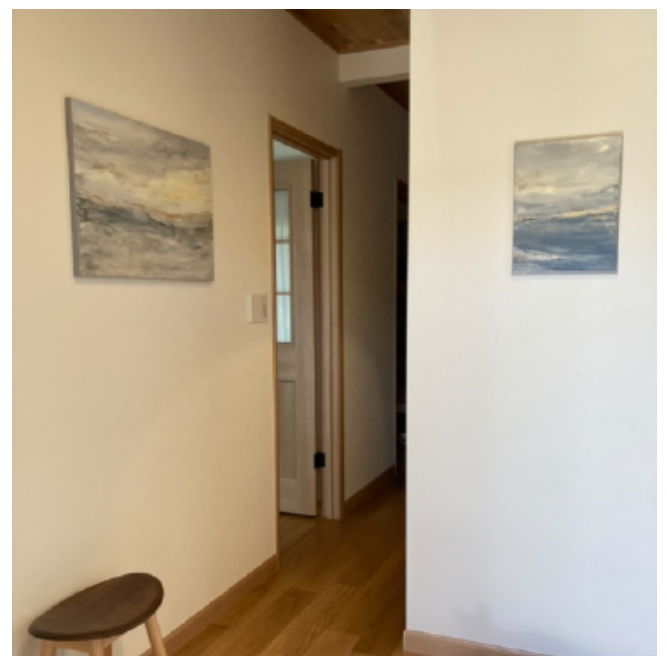


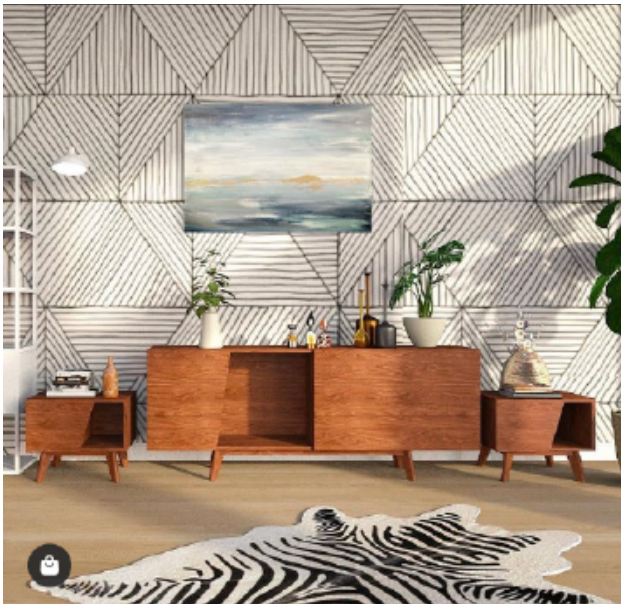






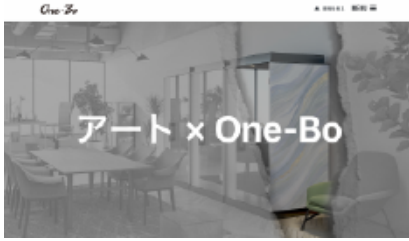






納品事例





コロナ禍で閉塞感が募る世の中、オフィスで働く方々がふとした時に「癒し」を享受できるようにとの想いから、5つのテーマに沿った作品をご用意しました。



空(開放)



風(爽快)



花(彩り)



水(潤い)



木(自然)



Zoomと共同で企画、1人ウェブ会議ブース「One-Bo」をプラザクリエイトが発売、50万円～

「イヤホンボイス公言」「会議室難民」「リモート激発」解消



株式会社プラザクリエイトは26日、オフィス内でZoomなどのウェブ会議をする場面を想定した1人用会議ブース「パーソナル・ミーティング・ボックス「One-Bo」」を発表し、同日より販売を開始した。

参加アーティスト



東京 武田 双葉氏

1975年、東京都北区。川崎市立大学工学部卒業

1998より建築業界に参入。建築現場に参入し、建築現場を巡り、大学卒業後、材料入仕の仕事を勤修を経て、2003年退職後独立して作家。

2009年6月14日横浜の東京メトロに地下鉄副都心線、高島町駅駅前にパブリックアートとして「星屋」の作品が設置。毎年11月には個人からの依頼を受け、パブリックアートで展開している。



東京 大橋 清氏

1983年生まれ。早稲田大学国際教養学部卒業

地味な絵を描き始める。洋アングラ、インクアートを経て、大学卒業後は経理コンサルティング会社入社。インクアートと音楽の分野で、海外展開を経て、京都・出雲市で2010年より器楽として音楽キャリアを始める。

1998年30歳を過ぎたときに初めて「美しい」と表現された。人の心とインクアートを通じて、2010年頃からアートとして表現し始める。「積極的な表現を促されるアーティスト」コンセプトに制作し、物販で5000円〜1万円、有名人、メディア、個人様等に5000円前後の価格。



ヘラルブニー (東京の絵画アーティスト)

株式会社ヘラルブニーは、異業種、異業種、異業種に繋げる協賛ネットワークとして、2018年に立ち上げました。

異業種のあるアーティストが互いにアート市場の社会貢献、企業・個人・団体・個人の間を繋ぎ合わせ、支援を促す。協賛企業として企業協賛が実現し、売り場が広がります。